

緑の風 NEWS

JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2022年9月18日 No. 39

意識付け 本人希望 なし 北上新幹線保線技セで強制配転が発生

9月16日、北上新幹線保線技術センターの組合員に10月1日付で八戸新幹線保線技術センターへの転勤の事前通知が意識付けもなく出されました。納得感がない当該組合員は組合員だからできる「簡易苦情処理」を提出しました。

問題点

- 1、事前の意識付けがなく、事前通知が出された
- 2、本人希望は北上地区での「出向」か「在来保線」
- 3、他の社員は事前の意識付けがあった。
- 4、在籍の長い他の社員が八幹保を希望している中で、
在籍3年2カ月での転勤
- 5、疑問をもった本人が現場長と話をした際の内容

生活があるのに…
まるでモノの扱い…



本人と現場長とのやり取り(一部)

本人:他の社員は事前情報があったが、自分は発令通知が出るまで事前情報が全くなかった。規程上はいいとしても、差別や人間味が無いと感じる。社員一人ひとりの生活がある中で、事前に相談が無いのはひどいと感じる。

現場長:理由は無。14日前であれば異動の準備ができる。
差別を感じるのは勝手である。

本人:転勤してまでも働きたい会社だとは思えない。

現場長:当社は異動ありきである。転職は個人の判断である。

異常な人事異動を許さず、連帯して共にたたかおう!